

## 豊かな農村景観「居久根」を守る活動に地域で参加

大崎地域世界農業遺産推進協議会(大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町)では、大崎耕土の重要な構成要素となっている、屋敷林「居久根」の保全と活用に向けた取り組みを行っています。

11月30日、集落における保全活動のモデルの一つ、古川沢田上行政区が主体となり、地域住民と、市内外からの参加者が一緒に居久根の保全活動を行いました。



▲地域住民と協力して刈り取った「ささ竹」を運ぶ参加者

ど食料の自給や、カエルやクモが生息することで、近隣の水田の害虫を抑制する役割があります。一方で、高齢化などで管理が困難となっている一面もあります。



▲伐採した太い幹は、チェーンソーで解体。力が入ります

市では、平和事業の一環として、子どもたちの平和に対する思いや考えを発表する「小・中学生平和作文コンクール」を毎年実施しています。



前列：小学生の部で入賞した皆さん  
後列：中学生の部で入賞した皆さん

## 小・中学生平和作文、読書感想文コンクールの入賞作品を表彰しました

本年度は、小・中学生合わせて165作品の応募があり、10人の皆さんが入賞しました。入賞作品は、冊子にまとめ、市ウェブサイトに(<http://www.city.osakimiyagi.jp/index.cfm/17,0,67,hm1>)に掲載します。



入賞した皆さん

また、読書活動の普及向上のため「大崎市読書感想文コンクール」を毎年実施しています。



▲今年も蕪栗沼・周辺水田には、約10万羽を越える冬鳥が、越冬するため飛来しています(令和元年12月16日現在)

27日	25日	20日	17日	11日	6日	5日	3日	2日	2019
● 仕事納め式	● 大崎地域世界農業遺産推進協議会第3回アクションプラン推進会議	● 年末年始特別警戒「安全・安心まちづくり」合同キャンペーン開始式	● 世界農業遺産座布団贈呈式(榊東北イノアック寄贈)	● 古川地域交通死亡事故ゼロ1年間達成感謝状贈呈式	● 令和元年第4回大崎市議会定例会(〜20日)	● 第14回読書感想文コンクール表彰式	● 大崎市民生委員・児童委員委嘱状交付式	● トランスイート四季島お出迎え(〜26日)計6回	12月の主な出来事

## Discover Osaki

### 地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



### 古川発

#### しめ縄づくりで正月支度

12月14日、古川志田地区公民館で、冬の風物詩「しめ縄作り」が行われました。

毎年恒例のこの行事には、地域の子からお年寄りまで約50人が参加。地区保健推進員との共催で、世代間・地域の交流などを目的に行われています。

しめ縄の材料は、地元飯川熊野神社の協力で、5月の「御田植祭」で手植えをし、秋に収穫した稲わらを使用しました。子どもたちは、宮司さんに縄のない方を教わりながら、慣れない手つきながらも真剣に取り組んでいました。

この日はまた、最近ではあまり見られなくなった「ミズキの飾り」づくりも行い、出来たての餅をきれいに飾り付けていました。



▲「良い一年になるように、願いを込めて、しめ縄づくり」

### 田尻発

#### 古代稲が十二支に変身!

田尻地域の「たじり古代稲生産組合」では、健康食品としても知られる古代稲(米)を使った「干支」のわら細工作りに取り組んでいます。

古代稲は「食用」と「加工用」があり、干支の細工には加工用として栽培された稲を使います。柔らかく鮮やかな色の「紫稲」などで作るわら細工は、干支のほかに「鶴」や「亀」をかたどった縁起物の製作も行っています。

地域の女性たちの「お茶っこ飲み場」として始まった干支づくり。ピークには数十人いたメンバーが、現在は12人に減少しましたが、市内外の団体などを対象にわら細工作りの講習会を開催して、多くの人に細工づくりの楽しさを伝えています。



▲かわいらしいネズミのわら細工

今年の干支「ネズミ」は、滑らかな肌の質感を出すために「イグサ」を使った特別仕様です。みちのく古川食の蔵 醸室や田尻の直売所「さくらっこ」などで、1月中旬頃まで販売されます。

### 岩出山発

#### 宇和島からの応援に感謝

愛媛県宇和島市と大崎市が、姉妹都市盟約の締結から20周年を迎えたことを記念し、11月29日から12月2日まで、「えひめ宇和島みかんフェア」が開催されました。

オープニングセレモニーでは、岡原宇和島市長から、台風19号で被災された大崎市民へ向けて応援のメッセージをいただきました。

会場の「あ・ら・伊達な道の駅」には、たくさんの方が訪れ、「応援みかん」や水産加工品など、宇和島の特産品を買い求める人でにぎわいました。



▲特設の「蛇口からみかんジュース」試飲体験に喜ぶ子どもたち